

平成19年度決算に関する書類

1 事業報告

科学的で効果的な健康づくりの方法の研究等を通して、市民の自主的な健康づくりを支援することにより、その健康的な生活習慣の確立を図り、もって市民の福祉の向上に資することを目的として、次の事業を行った。

(1) 指定管理者としての事業

福岡市健康づくりセンターの指定管理者として、次の事業を行った。

ア 調査・研究事業

(ア) 健康度診断

市民の多様なライフスタイルに応じ、医学的な検査や体力測定、生活習慣病のチェックをもとに一人ひとりにあった健康づくりをアドバイスし、また、健康度の変化を確認した。

- | | |
|--------------|-----|
| a 健康度診断1日コース | 44回 |
| b 体力測定コース | 4回 |

(イ) 健康づくりに関する調査及び研究

健康度診断・健康教室等のデータを大学等の関係機関と協力して解析するとともに、健康づくりの方法、支援方法について研究した。

- | | |
|---|----|
| a メタボリックシンドロームを含めた各種生活習慣病撲滅プログラムの作成のための基礎研究 | |
| b 調査研究に関する専門委員会等 | |
| 「福岡市健康づくり研究委員会」の開催 | 1回 |
| 「福岡市健康づくりセンター倫理委員会」の開催 | 1回 |

(ロ) 健康づくりに関する相談

面接、電話等による健康づくり全般に関する相談業務を随時行った。

(ハ) 健康づくり運動促進事業

身近な場所での運動習慣の定着を図るため、各区保健福祉センター（保健所）のヘルスアップスクールの受講者及び健康づくりセンターの健康度診断の受診者を対象として、運動処方の提供等を行った。

(ニ) 禁煙サポート

普及・啓発事業における禁煙教室の事業を踏まえ、禁煙に係る調査及び研究を行った。

イ 教育・研修事業

健康づくり指導者の知識及び技能の向上並びに関係各施設における指導の統一性を図るため、体系化した研修を行った。

- | | |
|------------------------|----|
| a 各区保健福祉センター（保健所）職員等研修 | 5回 |
| b 地域リーダー育成 | 1回 |

ウ 普及・啓発事業

(ア) 普及啓発

市民の健康づくりの動機づけや実践を促進するとともに、市民参加の健康づくりの普及啓発を行った。

なお、「健康日本21福岡市計画」の普及・啓発を図るため、パンフレットを作成し、イベントを開催した。

- | | |
|----------------------------------|--|
| a 「健康づくりセンターNEWS」パンフレット等の発行によるPR | |
| b ホームページによる情報提供 | |
| c 携帯サイトによる若者への健康づくり情報発信機能の充実 | |
| d 健康日本21福岡市計画の普及啓発強化 | |

(イ) 「たばこ」対策の推進

禁煙・分煙・防煙対策など「たばこ」対策を総合的に推進するための禁煙パネルを掲示し、

冊子やシールなどを作成、配布した。また、世界禁煙デーにあわせてパネル展示など禁煙普及イベントを開催した。

- ・ 世界禁煙デー関係普及イベント (5月開催：福岡市医師会、福岡市薬剤師会と共催)

(9) 講座・教室等の開設

要介護状態となる大きな原因の一つである転倒を予防するための講座及び健康づくりの普及や正しい知識を市民が身につけることを目的とした栄養、運動、歯科など多方面からの健康づくりに関する講座・教室及び健康講演会を開催した。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| a 糖尿病教室 (1日糖尿病教室) | 6講座(1講座1回) |
| b 歯周病予防教室(妊婦歯科健診を含む。) | 44回 |
| c フッ素塗布 | 44回 |
| d 働くママとパパのマタニティスクール | 10講座(1講座2回) |
| e 禁煙教室 | 10講座 |
| f 転倒予防教室(介護しらず教室) | 43講座(1講座5回) |

(I) 展示施設の運営

子どもから大人まで楽しく遊びながら学ぶことができる体験型展示施設「ウエルネス・ストリート」の運営を通して、よりよい生活習慣を身につける健康教育事業を行った。

食事の栄養バランスを学ぶ「ウエルネスレストラン」については、国が進める食事バランスガイドを取り入れ、視覚的に分かりやすい内容に修正した。

また、少年科学文化会館と連携し、「一日学習」の一環として小学3年生を対象に健康学習を行った。

(オ) 図書資料室の運営

広く市民へ図書室の存在をPRするとともに、図書室の運営を通して、専門図書室としてのレファレンスサービスの充実を図りながら健康づくりに関する情報の提供及び収集を行った。

エ 健康づくりセンター等の維持管理

福岡市健康づくりセンター等複合施設の適正な維持管理を行った。(健康づくりセンター以外の施設については、福岡市からの委託業務として実施した。)

- (ア) 建物の警備、清掃等
- (イ) 附属設備の保守管理及び運転
- (ウ) 受付案内
- (エ) ホール・講堂等管理業務

(2) 自主事業

自主事業として、次の事業を行った。

ア 調査・研究事業

- (ア) ニコニコペースの運動教室(健康運動教室) 11講座
- (イ) 健康づくりに関する調査及び研究
市民の健康や健康づくりに関する調査や研究を行った。
 - a 健康度診断受診者の縦断研究
 - b 特定保健指導のプログラム開発
 - c 厚生労働科学研究費補助金を活用した研究

イ 教育・研修事業

企業、地域指導者等の健康づくり指導者等を対象に研修を行った。

- (ア) 日本医師会認定産業医研修 4回
- (イ) 地域指導者研修(老人クラブリーダー等) 1回
- (ウ) 健康づくり指導者研修(健康運動指導士等) 2回

ウ 普及・啓発事業

指定管理者として実施する講座・教室とあわせ、自主事業として市民の健康づくりの動機づけや実践を促進するための教室等を開催した。

- (ア) 普及・啓発
 マスメディアを通して健康づくりの普及を図る。
- (イ) 健診等事業
 生活習慣病予防のため、医学的な検査や体力測定など一人ひとりにあった健康づくりをアド
 バイスし、生活習慣改善に役立てた。
- | | | |
|---|-------------|-----|
| a | 運動強度測定コース | 40回 |
| b | 体脂肪・骨塩量測定外来 | 35回 |
| c | 禁煙外来 | 52回 |
- (ロ) 講座・教室の開催
- | | | |
|---|-------------------------------|--------------|
| a | ウォーキング実践教室 | 21回 |
| b | メタボリックシンドローム改善セミナー(健康的にやせる教室) | 2講座(1講座9回) |
| c | 親と子の食育講座 | 3講座 |
| d | 糖尿病患者の料理教室 | 2講座 |
| e | 企業向け健康教室 | 8講座 |
| f | フォローアップ教室 | 24回 |
| g | 運動指導教室(にこにこルーム) | 148回(週3回) |
| h | メール支援による禁煙サポート | 120回(1教室12回) |
- (ハ) 特別企画展
- | | | |
|---|-----------------|----|
| a | 骨と関節の日講演会 | 1回 |
| b | ふくおか市民糖尿病教室 | 1回 |
| c | 糖尿病パネル展 | 1回 |
| d | あいろふフォーラム「薬と健康」 | 1回 |
| e | 市民公開講座 | 2回 |
- (ニ) 歩く市民づくりの推進
 ウォーキング大会「第10回シティウォーク in ふくおか」の開催 1回
- (3) 理事会
 第1回理事会 平成19年5月29日
 第2回理事会 平成20年3月26日

2 貸借対照表(平成20年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	86,149,333	-	-
未収金	1,472,643	-	-
流動資産合計	87,621,976	-	-
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産投資有価証券	239,850,000	-	-
基本財産引当預金	31,318,000	-	-
基本財産合計	271,168,000	-	-
(2) 特定資産			
什器備品	1,995,000	-	-
什器備品減価償却累計額	1,915,199	-	-
退職給与引当預金	546,000	-	-
調査研究事業引当預金	8,000,000	-	-
特定資産合計	8,625,801	-	-
(3) その他の固定資産			
什器備品	1,046,500	-	-
什器備品減価償却累計額	160,270	-	-
電話加入権	741,600	-	-
その他の固定資産合計	1,627,830	-	-
固定資産合計	281,421,631	-	-
資 産 合 計	369,043,607	-	-
負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	68,267,275	-	-
預り金	1,658,939	-	-
流動負債合計	69,926,214	-	-
2. 固 定 負 債			
退職給与引当金	546,000	-	-
固定負債合計	546,000	-	-
負債合計	70,472,214	-	-
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	279,247,801		
(うち基本財産へ充当額)	271,168,000	-	-
(うち特定資産へ充当額)	8,079,801		
2. 一般正味財産	19,323,592		
(うち基本財産へ充当額)	0	-	-
(うち特定資産へ充当額)	0		
正味財産合計	298,571,393	-	-
負債及び正味財産合計	369,043,607	-	-

3 正味財産増減計算書（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,105,289	-	-
事業収益	451,899,956	-	-
受取補助金	3,000,000	-	-
受取負担金	160,000	-	-
受取寄付金	19,949	-	-
雑収益	188,461	-	-
経常収益計	457,373,655	-	-
(2) 経常費用			
事業費	288,879,063	-	-
管理費	163,668,592	-	-
経常費用計	452,547,655	-	-
当期経常増減額	4,826,000		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	280,000	-	-
経常外収益計	280,000	-	-
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	-	-
当期経常外増減額	280,000	-	-
当期一般正味財産増減額	5,106,000	-	-
一般正味財産期首残高	14,217,592	-	-
一般正味財産期末残高	19,323,592		-
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	19,949	-	
指定正味財産期首残高	279,267,750	-	-
指定正味財産期末残高	279,247,801		-
正味財産期末残高	298,571,393		

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 会計基準の変更について

当期から、公益法人会計基準（平成 16 年 10 月 14 日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ）を採用している。

イ 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産投資有価証券	239,850,000	0	0	239,850,000
基本財産引当預金	31,318,000	0	0	31,318,000
小 計	271,168,000	0	0	271,168,000
特定資産				
什器備品	1,995,000	0	0	1,995,000
什器備品減価償却累計額	1,895,250	0	19,949	1,915,199
退職給与引当資産	234,000	312,000	0	546,000
調査研究事業引当資産	8,000,000	0	0	8,000,000
小 計	8,333,750	312,000	19,949	8,625,801
合 計	279,501,750	312,000	19,949	279,793,801

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産投資有価証券	239,850,000	(239,850,000)	(0)	-
基本財産引当預金	31,318,000	(31,318,000)	(0)	-
小 計	271,168,000	271,168,000	(0)	-
特定資産				
什器備品	1,995,000	(1,995,000)	(0)	-
什器備品減価償却累計額	1,915,199	(1,915,199)	(0)	-
退職給与引当資産	546,000	(234,000)	(0)	(546,000)
調査研究事業引当資産	8,000,000	(8,000,000)	(0)	-
小 計	8,625,801	(8,078,801)	(0)	(546,000)
合 計	279,793,801	(279,247,801)	(0)	(546,000)

(4) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 厚生労働科学研究費補助金	(財)愛知県健康づくり振興事業団	-	3,000,000	3,000,000	0	-
負担金 産業医研修負担金	福岡市医師会	-	160,000	160,000	0	-
合 計		-	3,160,000	3,160,000	0	

6 収 支 計 算 書 (平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	最終予算額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動収入の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	1,986,000	2,105,289	119,289	投資有価証券利息等
事 業 収 入	477,696,000	451,899,956	25,796,044	福岡市受託収入等
補助金等収入	3,000,000	3,000,000	0	厚生労働科学研究費補助金
負担金収入	160,000	160,000	0	産業医研修負担金
雑 収 入	170,000	188,461	18,461	歯ブラシ等
事業活動収入計	483,012,000	457,353,706	25,658,294	
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出	311,818,000	288,698,844	23,119,156	調査・研究、教育・研修、普及・啓発、施設管理等
管 理 費 支 出	172,882,000	163,356,592	9,525,408	職員給与費等
事業活動支出計	484,700,000	452,055,436	32,644,564	
事業活動収支差額	1,688,000	5,298,270	6,986,270	
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	
投資活動収入計	2,000,000	0	2,000,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取崩支出	312,000	312,000	0	退職給与引当資産取得支出
固定資産取得支出	766,500	766,500	0	トレッドミル購入支出
投資活動支出計	1,078,500	1,078,500	0	
投資活動収支差額	921,500	1,078,500	2,000,000	
財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額計	0	0	0	
予備費	800,000	0	33,500	
	766,500			
当期収支差額	800,000	4,219,770	5,019,770	
前期繰越収支差額	800,000	13,475,992	12,675,992	
次期繰越収支差額	0	17,695,762	1,7695,762	

(注) 予備費 766,500 円 は固定資産取得支出に充当した額である。

7 収支計算書に対する注記

(1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、及び預かり金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記(2)に記載するとおりである。

(2) 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	84,034,821	86,149,333
未 収 金	773,210	1,472,643
合 計	84,808,031	87,621,976
未 払 金	69,441,463	68,267,275
預 かり 金	1,890,576	1,658,939
合 計	71,332,039	69,926,214
次 期 繰 越 収 支 差 額	13,475,992	17,695,762

8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約
該当なし

9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約
該当なし